



第21回ももはな会



- 日時：2022年10月29日（土）14：00～15：00
- 講演：ホルモン療法のアンケート
- 講師：椎名 伸充先生（井上記念病院 乳腺外科部長）
- アンケート主旨：乳がんホルモン療法による副作用等、現状把握を行い、今後のホルモン療法のあり方を検討するために実施する
- アンケート実施方法：「ホルモン療法あり」「ホルモン療法なし」「乳がん既往歴なし」の3種類を用意、ももはな会会員様、井上記念病院乳腺外科外来・川上診療所外来受診者様にご協力頂き約2ヶ月間実施いたしました。



アンケート概要

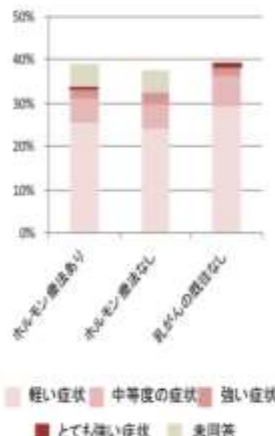
	全体	乳がん ホルモン療法 あり	乳がん ホルモン療法 なし	乳がんの既往 なし
総数	379	181	37	161
年齢(歳)	57.3	60.8	57.6	53.1
閉経前	132 (34.8%)	42 (23.2%)	11 (29.7%)	79 (49.1%)
閉経後	232 (61.2%)	130 (71.8%)	25 (67.6%)	77 (47.8%)
閉経年齢(歳)	50.5	50.1	50.3	50.9
乳がん診断 年齢(歳)	55.6	56.2	52.2	
診断からの 経過年数(年)	4.8	4.6	5.8	
抗がん剤治療あり		55 (30.4%)	20 (54.1%)	
放射線治療あり		114 (70.0%)	21 (56.8%)	

	全体	n=181
ホルモン療法 開始年	-2010 2011-2015 2016-2020 88 (48.6%) 2021-2022 46 不明	7 (3.9%) 17 (9.4%) (25.4%) 23 (12.7%)
ホルモン療法 内服状態	内服中 中止or終了 不明	117 (64.6%) 34 (18.8%) 30 (16.6%)
ホルモン療法 内服期間	2年以内 2-5年以内 5年以上 不明	49 (27.1%) 68 (37.6%) 21 (11.6%) 43 (23.8%)
使用薬剤	タモキシフェン LHRHa+タモキシフェン アナストロゾール レトロゾール エキセメスタン 不明	73 (40.3%) 10 (5.5%) 68 (37.6%) 12 (6.6%) 1 (0.6%) 18 (9.9%)

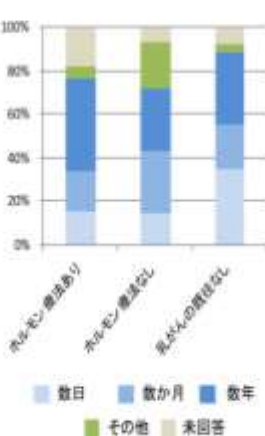
ホルモン療法の副作用・症状について行ったアンケート結果

*症状が多かった事例を抜粋してご報告いたします

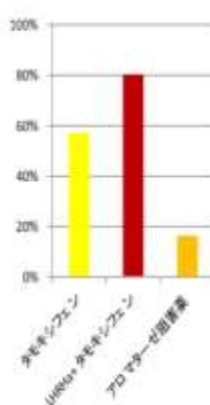
発現率と症状の重さ



症状の発現期間

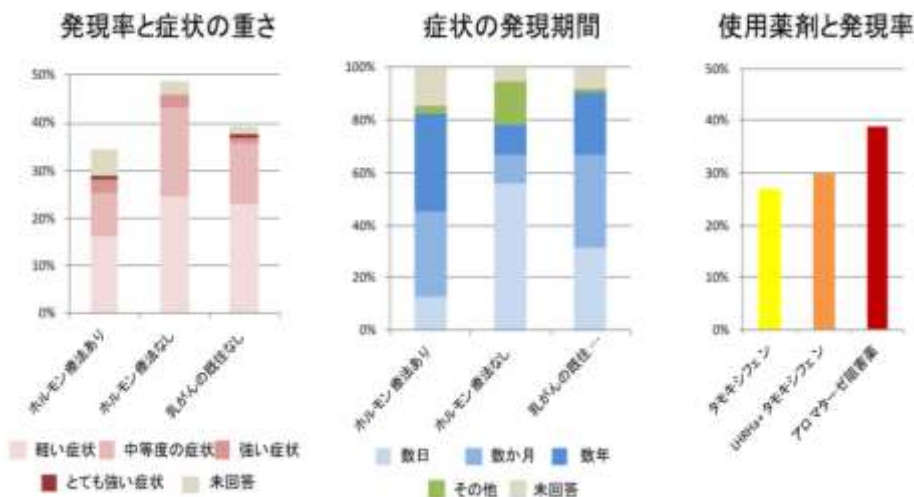


使用薬剤と発現率



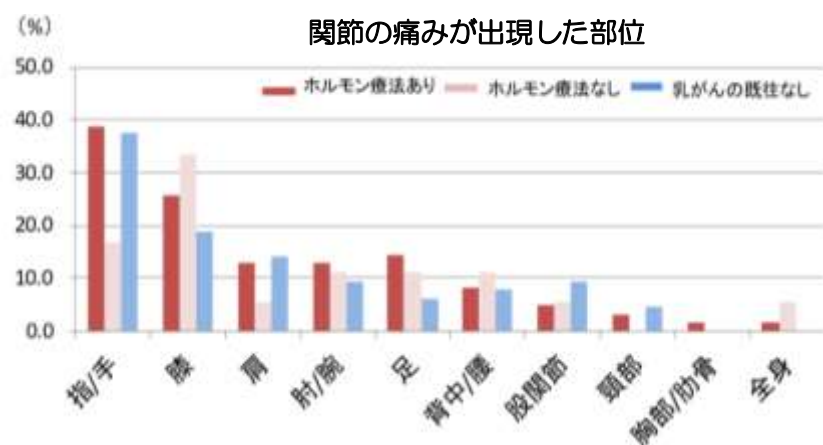
ホットフラッシュ

4 割近い発現率で数ある副作用の中で最も高かった。軽い症状が多かったが、「ホルモン療法あり」の群では数年症状に悩む人の割合が多かった。タモキシフェン内服で頻度が高く、LHRH アナログ（リュープリンなど）を追加すると発現率が高くなった。7人が漢方を処方され、効果を感じたのは1人であった。



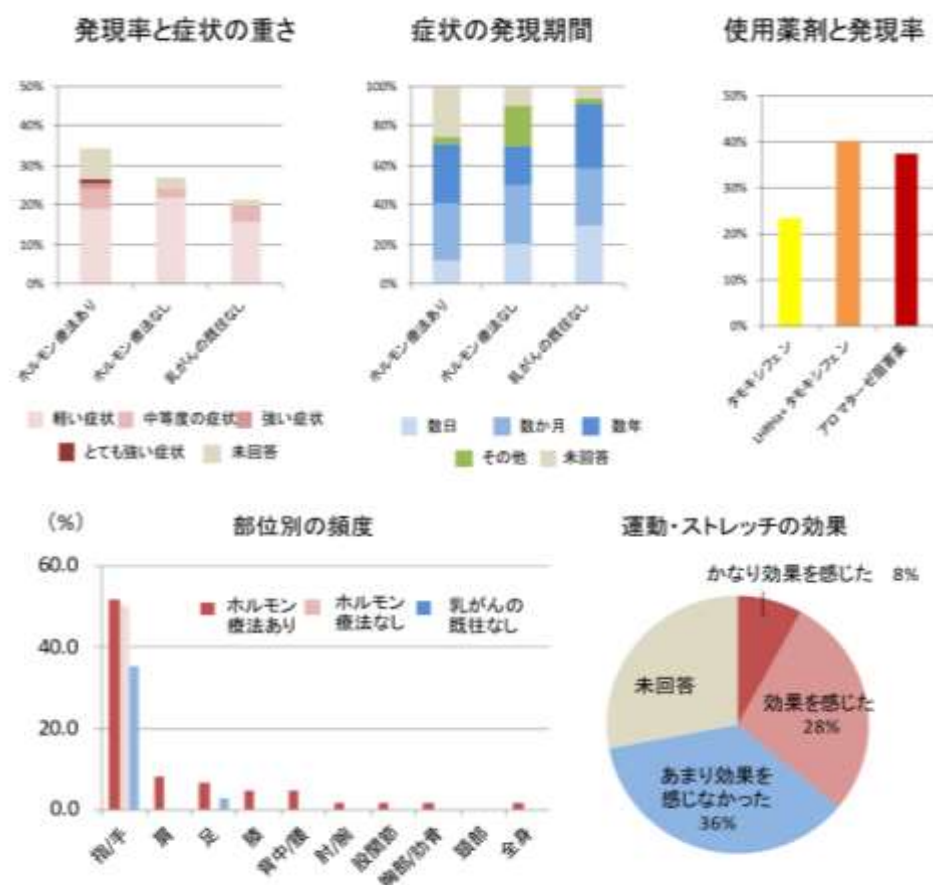
関節の痛み

3割を超える発現率で2番目に多かった。中等度以上の症状が半数近くあり、ほとんどの方が数カ月から数年悩まされる。アロマターゼ阻害薬で発現率が高かった。



関節の痛み（部位別頻度）

手や指が約4割に見られた。その他は膝や足に多かった。対処として7人がロキソニン、セレコックス、カロナールなどの消炎鎮痛剤を使用し、4人が効果を感じたと回答している。

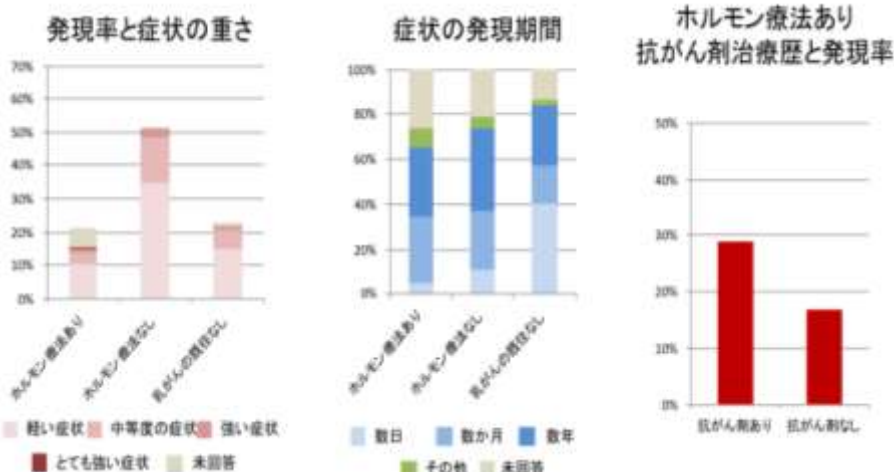


関節のこわばり

3割を超える発現率で関節痛と並び2番目に多かった。多くは軽度の症状だったが、数カ月から数年悩まされる。LHRHアナログ（リュープリンなど）+タモキシフェンやアロマターゼ阻害薬で発現率が高かった。

およそ半数が手や指に発現していた。対処として運動・ストレッチをおこなった方の36%が効果を感じたが、一方で同数があまり効果を感じなかった。

その他、3人が関節注射の処置を受け、3人とも効果を感じたと話している。また2人が手術を施行されていた。



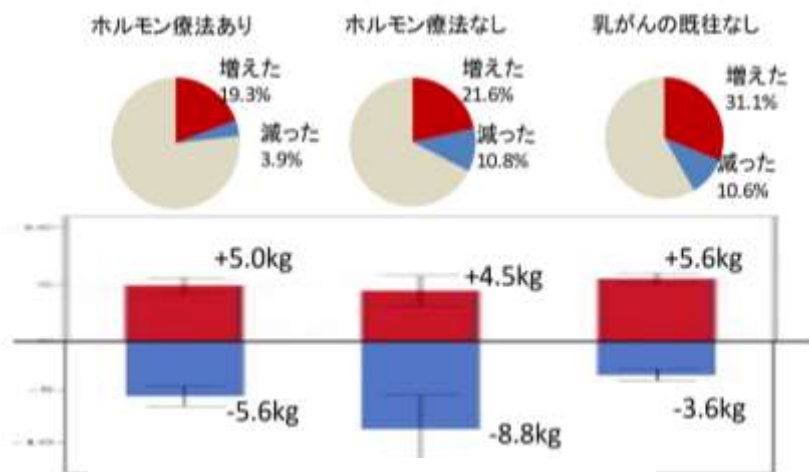
しびれ

20%近くの発現率だがむしろホルモン療法なしの群が多かった。乳がんの方に発現するしびれは数カ月から数年と長期に及ぶ例が多かった。抗がん剤の治療歴がある方は発現率が高かった。

しびれが出現した部位



多くが手や指、足に出現していた。4人がビタミン剤や漢方などの処方を受けたがいずれも効果を感じなかったと回答している。

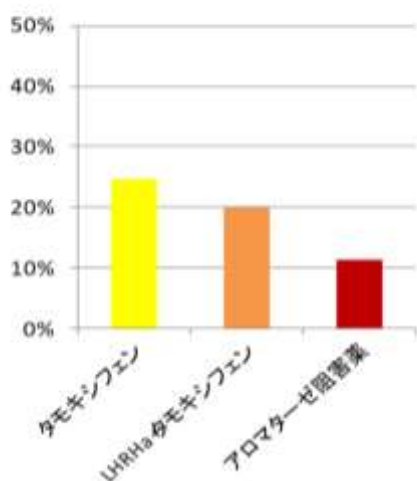


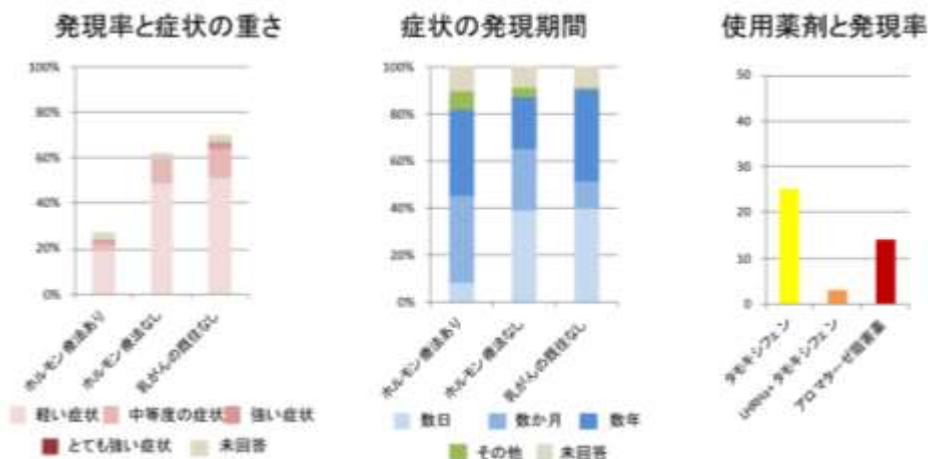
体重の増減

2割は体重の増加を感じているが、ホルモン療法を行っていない方も2-3割で体重増加を感じている。減ったと感じた割合は比較的少ないか。

体重の増加

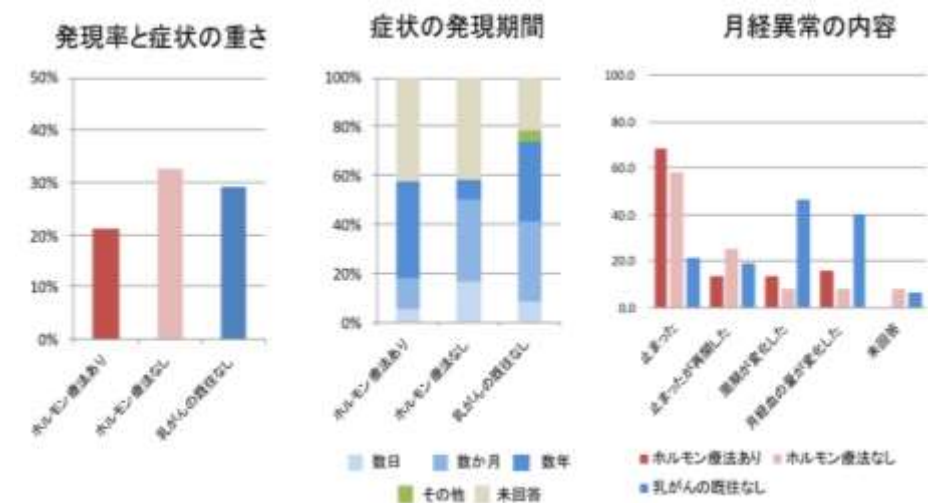
アロマターゼ阻害薬よりタモキシフェンの方が体重増加を感じた方の割合が多かった。





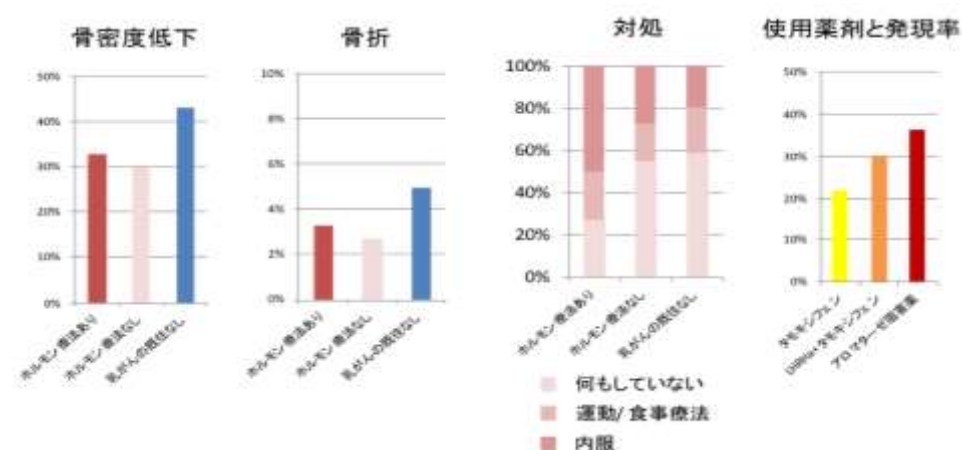
疲労感・倦怠感

2割を超える発現率です。ホルモン療法なしの群も疲労・倦怠感の発現率は高いですが、ホルモン療法ありの群は数カ月から数年間悩まされている。タモキシフェンの方の発現率が高かった。



月経異常

2割近くに月経異常を認めた。ホルモン療法なしの方と比べて数年悩む割合が多い。その内容は6割以上が「月経が止まった」という内容だった。



骨密度の低下

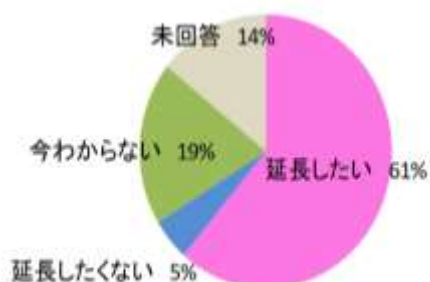
3割を超える発現率があるがホルモン療法なしの群も同様に見られる。骨折は3%と比較的少なく、対処として内服が行われている割合が多いためか。アロマターゼ阻害薬で発現率が高かった。

ホルモン療法の期間延長を提案された場合、延長したいと思いますか

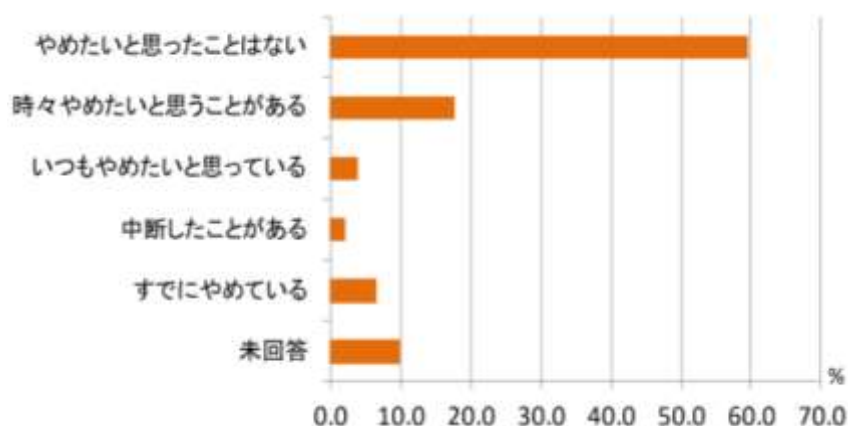
乳癌診療ガイドライン 2022 年版

浸潤性乳癌に対する術後5年以降の追加投与について

- ・タモキシフェン5年投与後にタモキシフェン5年追加投与を行うことを推奨する。
- ・内分泌療法5年投与終了後にアロマターゼ阻害薬2-5年追加投与を行うことを弱く推奨する。

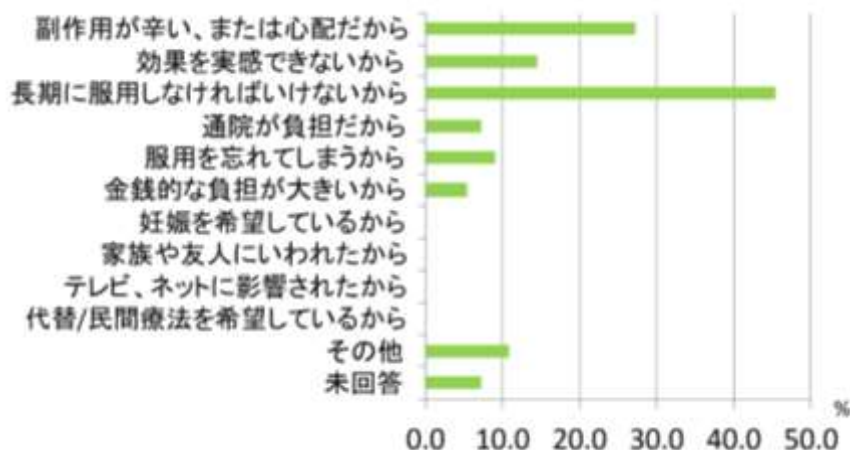


ホルモン療法について思っている事に関するアンケート結果



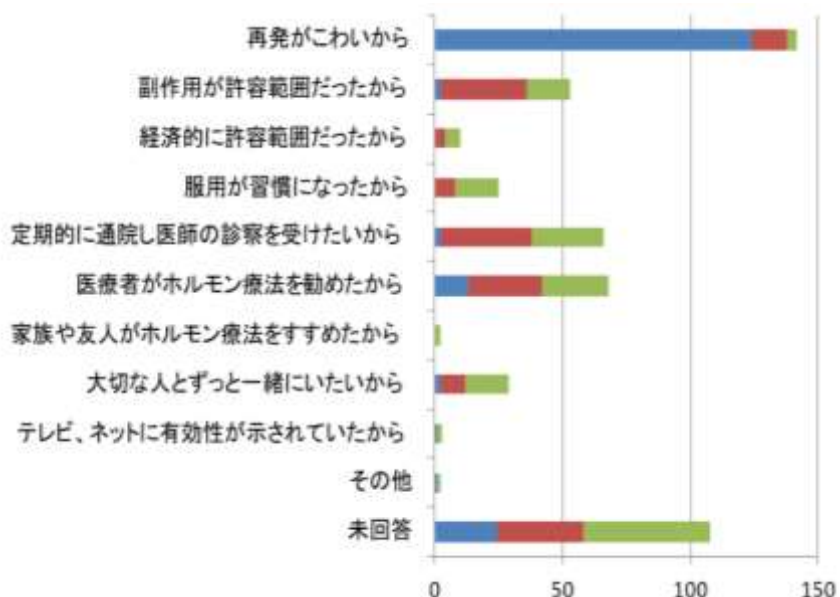
ホルモン療法をやめたいと思ったことはありますか

6 割はホルモン療法をやめたいと思ったことはない。
3 割はやめたいと思ったもしくはやめた。



やめたい（やめた）理由について

最も多く選ばれたのは長期に内服することだった。
次に副作用の辛さや効果を実感できないことが続いた。



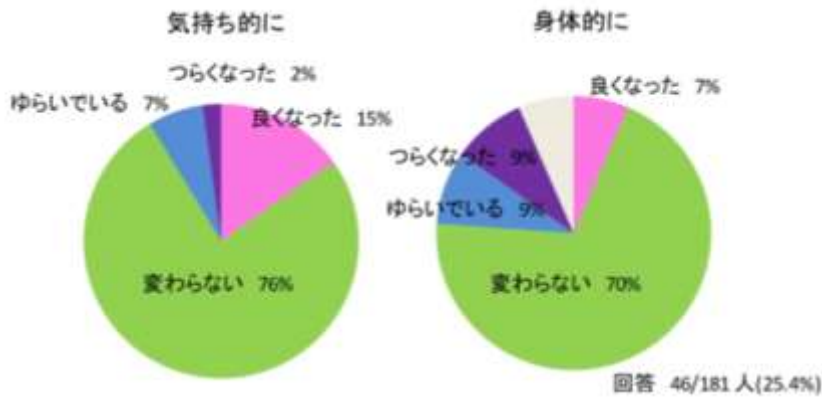
ホルモン療法を継続する理由

再発がこわいが圧倒的に多かった。
副作用が許容範囲であること、定期的に通院し診察を受けたいことも多かった。

●優先順位 1 位 (青) ●優先順位 2 位 (赤) ●優先順位 3 位 (緑)

ホルモン療法をやめたいと思っていた が継続した方の今の状況についての 回答結果

継続して、症状や気持ちが改善していった方は少数で、7割は気持ち的にも身体的にも変わらなかった。



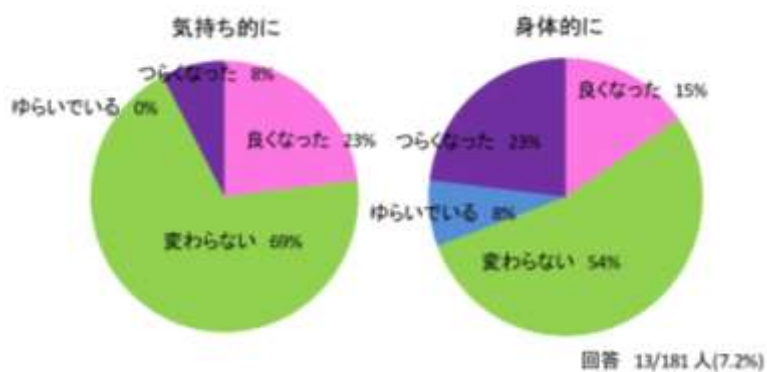
ホルモン療法をやめた方の 今の状況についての回答結果

やめた方の4割以上は気持ち的にも身体的にも改善がみられた。3割は変わらないという回答だった。



ホルモン療法を変更した方の 今の状況についての回答結果

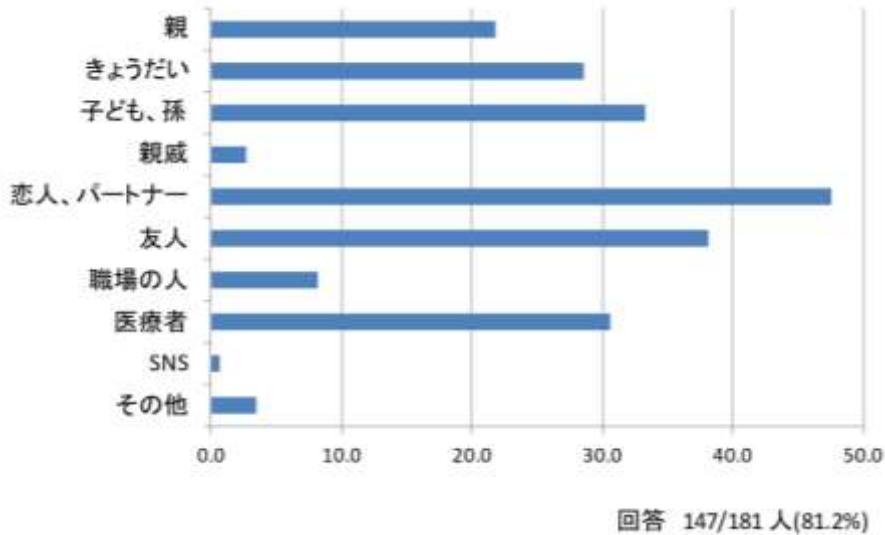
ホルモン療法を変更して気持ち的に改善がみられた方は2割程度だった。逆に身体的につらくなった方も2割見られた。



ホルモン療法中に悩んでいる事や 辛いことはありますかの回答結果

今はない方は7割近くいたが、悩んでいること辛いことがある方と未回答の方が合わせて3割強となった。





ホルモン療法中に悩んだり辛い気持ちになった時に頼れる人はいるか
(複数回答可)

恋人パートナーが一番多く、次に友人、子供・孫と続いた。医療関係者と回答した方も3割強という結果だった。



悩んだり辛い気持ちになった時に
どうするかの回答結果
(複数回答可)

誰かに話を聞いてもらうが6割強だった。次いで好きなことをする、インターネットや本などで情報を得るが半数近くという結果となった。

ホルモン療法中に支えとなった言葉

- ・ 終わりは必ず来る
- ・ 続けていれば大丈夫
- ・ 毎日を精一杯生きる
- ・ 元気があれば何でもできる
- ・ 孫からの言葉「大人になっても元気でずっと一緒にいてね」
- ・ 日常を楽しむ
- ・ 気持ちの赴くままに
- ・ 一病息災（一つぐらい病気があった方が、かえって健康に気をつけて長生きができるということ）

他

2022/11/30
ももはな会事務局

ももはな会

- 🌸 事務局：井上記念病院 地域医療連携室
- 🌸 代表者：椎名伸充（井上記念病院 乳腺外科部長）
- 🌸 所在地：千葉県千葉市中央区新田町 1-16
- 🌸 T E L：043-245-8939 F A X：043-245-8823
- 🌸 発足日：2018 年 4 月 21 日
- 🌸 年会費：2,000 円（10 月以降は 1,000 円）
- 🌸 入会方法：井上記念病院乳腺外科外来、川上診療所受付にて受付けております
※ 現在、他院治療中の方も入会可能です。
- 🌸 問い合わせ先：井上記念病院 TEL 上記同様、川上診療所 TEL043-238-2166
- 🌸 2022 年度事業計画：

開催日	内容
4 月 23 日（土） 14：00～15：30 開催終了しました	第 19 回ももはな会（ZOOM にて開催） ・ 演題：乳がん検診の今とこれから ・ 演者：横溝 十誠先生 ・ 茶話会 
7 月 23 日（土） 14：00～15：30 開催終了しました	第 20 回ももはな会（ZOOM にて開催） ・ 演題：乳がん治療・検査のアップデート ・ 演者：椎名 伸充先生 ・ 茶話会
10 月 29 日（土） 14：00～15：30 開催終了しました	第 21 回ももはな会（ZOOM にて開催） ・ 演題：みんな教えて！ホルモン療法の現実 ・ 演者：椎名 伸充先生 ・ 茶話会 
1 月 28 日（土） 14：00～15：30 12 月受付開始予定	第 22 回ももはな会（ZOOM にて開催） ・ 演題：しびれについて（仮） ・ 演者：千葉大学医学部附属病院 脳神経内科助教 澁谷 和幹先生 ・ 茶話会

2022.11.30 現在